

リハビリテーション法

《担当者名》 坂上 哲可(リハ) tsakaue@hoku-iryo-u.ac.jp 本家 寿洋(リハ) 朝日 まどか(リハ) 児玉 壮志(リハ)

【概要】

リハビリテーションの理念を学ぶ。また、身体的リハビリテーション、精神的リハビリテーションおよび地域リハビリテーションにおける代表的な疾患と機能障害の考え方、およびアプローチ方法について学ぶ。また、講義全体を通して看護師とリハビリテーション専門職の連携のあり方を考える。

【学修目標】

1. 各疾患や障がいの特徴を述べることができる。
2. 各疾患におけるリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を解釈できる。
3. 障害を抱えた人の社会復帰していくための支援方法を説明できる。
4. 地域リハビリテーションの理念と実施方法を関係づけることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	リハビリテーションの理念	リハビリテーションの理念とICFモデルを学ぶ。	坂上
2	運動器系障害者に対するリハビリテーション	末梢神経損傷の病態とリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	坂上
3	運動器系障害者に対するリハビリテーション	切断の病態とリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	坂上
4	運動器系障害者に対するリハビリテーション	関節疾患に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	坂上
5	中枢神経系障害者に対するリハビリテーション	中枢神経系の運動障害に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	坂上
6	中枢神経系障害者に対するリハビリテーション	中枢神経系の高次脳機能障害に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	坂上
7	中枢神経系障害者に対するリハビリテーション	中枢神経系の嚥下障害・排泄障害に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	朝日
8	中枢神経系障害のリハビリテーション	脊髄損傷に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	坂上
9	神経難病者に対するリハビリテーション	神経難病に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	本家
10	精神障害者に対するリハビリテーション	統合失調症に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	児玉
11	精神障害者に対するリハビリテーション	うつ病に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	児玉
12	地域リハビリテーション	地域におけるリハビリテーションと多職種との連携について学ぶ。	朝日
13	地域リハビリテーション	障害者が在宅生活を送るための環境整備について学ぶ。	朝日
14	がんのリハビリテーション	癌に対してのリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	本家
15	呼吸器・循環器障害者に対するリハビリテーション	閉鎖性肺疾患・虚血性心疾患に対するリハビリテーションの考え方とアプローチ方法を学ぶ。	坂上

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験(筆記試験)100%

【教科書】

講義資料を配布する。

【参考書】

必要があれば、講義の中で適宜紹介する。

【学修の準備】

予習では各回のキーワードについて、参考書、関連書、インターネットなどで調べておくこと(2時間)。

復習では、講義で配布された資料を整理し、記憶の定着を図ること(2時間)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【実務経験】

坂上哲可(作業療法士)、本家寿洋(作業療法士)、朝日まどか(作業療法士)、児玉壮志(作業療法士)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での臨床経験を活かして講義、指導する。